

# 『屋久島クリーンエネルギーアイランド』構想

～環境共生の最良の方法を見出し、エネルギー自立の地域経済循環型地域を目指して～

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 代表提案者 | 一般社団法人 エネルギー高効率建築研究所 |
| 協同提案者 | 屋久島町・屋久島青年会議所        |

日本の貴重な財産である世界自然遺産『屋久島』は、日本屈指の再エネ自立地帯と言われているが、人々の暮らしを維持するには島外からのエネルギー供給に頼る部分も少なくない。人々の暮らしに不可欠な建築物をエネルギー効率の良いものにし、クリーンエネルギーを効果的に利用する事で、自然環境に負荷を与えずに生活の質の向上を図るといふ真の環境共生スタイルを目指すものである。

島内のクリーンエネルギー資源を活用し、創蓄省エネルギー化する事によりエネルギー自立型地域の確立を目指す。

## ■リーディングプロジェクト 1 エネルギー高効率建築化とクリーンエネルギー分散型供給システムの連動でエネルギー自立化を図る

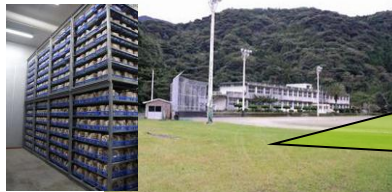
### ①エネルギー高効率建築の建設 (屋久島町新庁舎、リタイアメントビレッジ)

バイオマスコジェネを中心に太陽熱や地中熱利用した冷暖房等の装備、太陽光発電と蓄電池などを集中管理・設置するエネルギータワーを持ち、災害時でも機能を失わず、避難場所としても活用できる建物とする。地域エネルギー会社は、バイオマス燃料のプラントを設置し、供給のための検証を一体的に行なっていく。

屋久島産杉を構造・外壁・内装に使い、自然素材の断熱材や3層ガラスなどを装備した、エネルギー高効率建築とした建築物としても高い評価を受けるように計画。



### ②遊休施設利用のエネルギー自立型工場(植物工場他)



遊休施設を省エネ改修し、地中熱等再エネを利用したエネルギー自立型工場を設立。

新たな雇用も創出

### ③施設にエネルギー供給を行う、地域エネルギー会社の設立

## ■リーディングプロジェクト 2

### 屋久島クリーンエネルギービークル化プロジェクト

身近にクリーンエネルギービークルを置くことで、より一層の興味を喚起し、地域にある再エネ利用との連携を進めていく事で、EV車の普及拡大を図る

- ①コンファレンスと展示会
- ②公用車等のクリーンエネルギー化
- ③EV島バス
- ④各区への超モビと充電施設の配備
- ⑤超小型モビレンタカー

①構想の周知徹底と島民の意識高揚、島来者増強を目的としたコンファレンスとSHOWの開催  
本構想の事業および屋久島の取り組みの周知高揚と話題化、関係者のプロジェクト展開への意識醸成を図る為のシンポジウムと、来島者増加政策・島民の興味を醸成させる事を目的にイベントを展開する。



②公用車・業務車等自家用車以外の車両や小型漁船のクリーンエネルギー化



## ■リーディングプロジェクト 3 再生可能エネルギー技術者養成・環境教育機関の開設

島内の自然環境や再可エネルギー関連施設を教材・見学コースとし、環境・再エネのテーマパーク的な展示を行い、遊休施設を利用した研修場や宿泊施設を配備した、再生可能エネルギー関係の専門技術者養成や幼児から大学院生まで幅広い層に対する様々なプログラムを持つ教育機関を設置する

